

PC 環境計測データロガーLabdaqLoggerEnv マニュアル

eLaBNET

1. PC の準備と環境センサーのドライバーインストール

計測システム用の PC を準備します。

OS : Windows10 32/64bit

USB 端子 : 接続環境センサー台数に応じた USB 端子が必要です。

CPU、メインメモリ等は一般的な仕様

本ソフトウェアをインストールするための CD ドライブが必要です。

本ソフトウェアは PC 画面の最大解像度に対応していますので、解像度が大きい程、計測データのグラフエリアが広範囲で見やすくなります。

次にこの PC に、オムロン社サイトから環境センサーの USB ドライバをインストールします。まだ、環境センサーは接続しません。

本ソフトウェアは、環境センサーが接続されていなくてもご使用できます。起動後のファイルメニュー、「Labdaq テキスト形式データファイル読み込み」、「任意テキスト形式データファイル読み込み」から CSV テキストファイルを読み込み、グラフ表示、解析、印刷等が可能です。

環境センサーのホームページにアクセスします。

ホーム > センサ > IoT センサ > 環境センサ > 2JCIE-BU

<https://www.omron.co.jp/ecb/product-detail?partNumber=2JCIE-BU>

画面上に「ユーザーマニュアル」のダウンロードボタンがあります。環境センサーの詳細が記載されているので、もし、時間があれば、一読することをお勧めします。内容が膨大なので、必須ではありません。

USB ドライバをダウンロードするため、画面中程の「ソフトウェア」をクリックします。

次の画面に移行します。ダウンロード可能なソフトウェアの一覧が表示されます。

この中から

USB ドライバ

USB ドライバインストールマニュアル

をダウンロードします。

「使用許諾契約を確認する」ボタンをクリックします。

次の画面に移行します。

この画面から

USB ドライバ

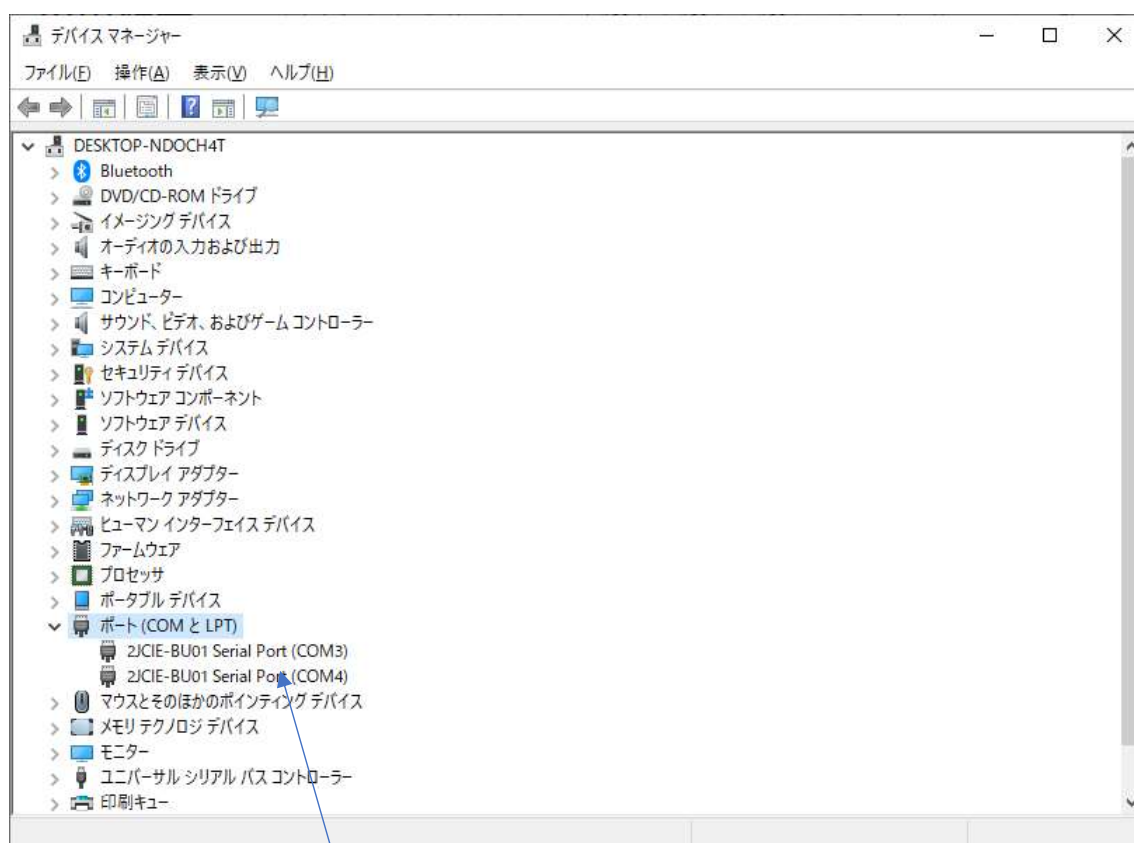
USB ドライバ インストールマニュアル

をダウンロードします。

ダウンロードされた、USB ドライバインストールマニュアルに従って、ドライバを PC にインストールします。

ドライバのインストール完了後、環境センサーを USB 端子に接続します。

正常にインストールされると、Windows の設定メニュー、デバイスマネージャーで以下のように確認できます。



2. PC 環境計測データロガーLabdaqLoggerEnv のインストール

PC 環境計測データロガーLabdaqLoggerEnv の CD、またはダウンロード ZIP ファイルの構成は以下です。

Documents >PC 環境計測データロガーLabdaqLoggerEnv マニュアル PDF
 本マニュアルがあります。

Install >インストール用のファイル、以下があります。
 LabdaqEnvSetup.msi
 setup.exe

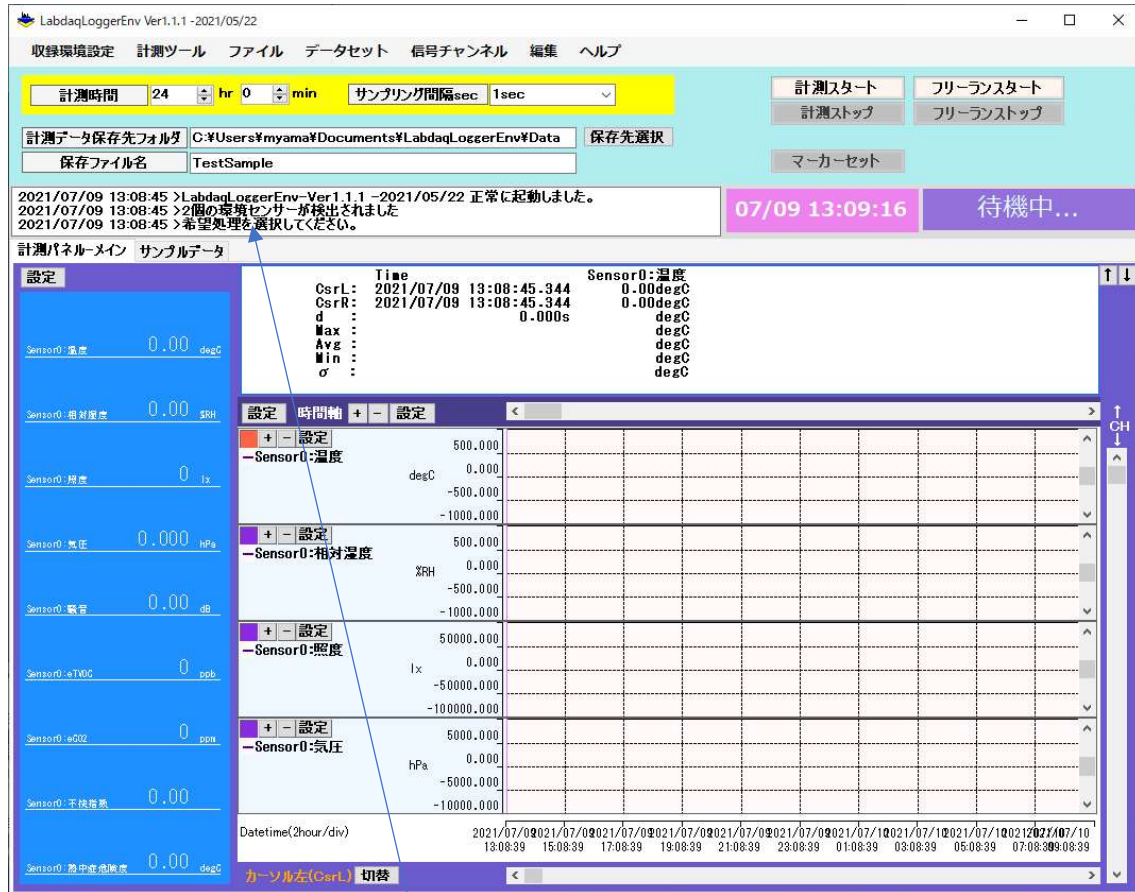
インストールは Install フォルダ内の setup.exe クリックで実行します。インストールが正常に終了すると、デスクトップに以下のアイコン、LabdaqLoggerEnvEval が表示されます。



このアイコンクリックでソフトウェアが起動します。またスタートメニューにも、設定されており、このスタートメニュー内の LabdaqLoggerEnvEval からでも起動できます。

3. PC 環境計測データロガーLabdaqLoggerEnv の起動、および計測実行

起動後、以下の画面になります。



検出された環境センサーの個数が表示されます。

本ソフトウェアの起動中、環境センサーの取り外し、挿入は禁止です。本ソフトウェアを終了してから、取り外し、挿入をしてください。

まず、環境センサーが正しく、インストールされているかチェックします。画面上左のメインメニュー「収録環境設定」>「収録センサー構成設定」をクリックし、以下画面を開きます。

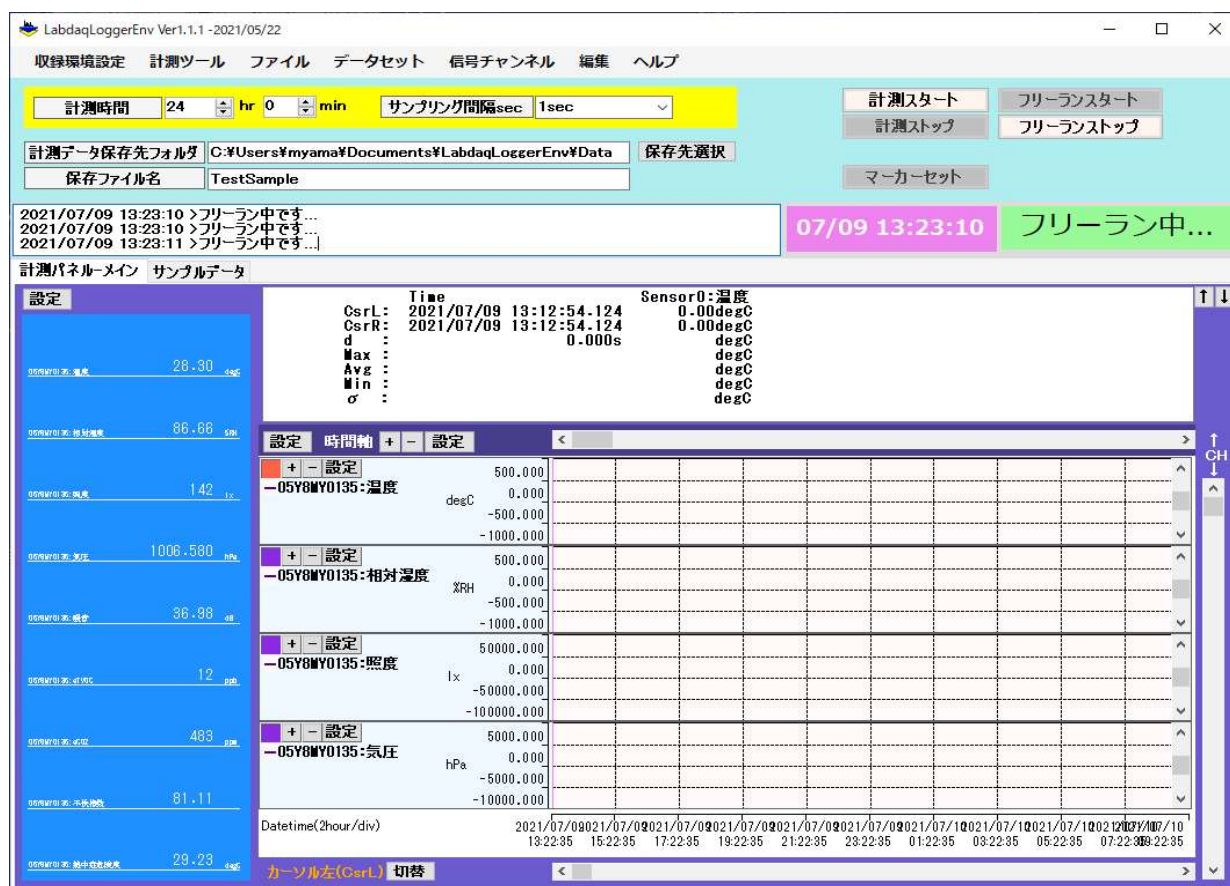
収録機器構成設定 ×

計測オン	モデルナンバー	シリアルナンバー	ファームウェアバージョン	ハードウェアバージョン	製造者名	使用チャンネル数	一連チャンネル番号
<input checked="" type="checkbox"/>	2JCIE-BU01	05Y8MY0135	00.69	01.00	OMRON	9	CH00-08
<input type="checkbox"/>	2JCIE-BU01	0919MY0055	00.70	01.00	OMRON	9	
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
使用計チャンネル数						9	

収録機器構成を設定後OKボタンを押してください

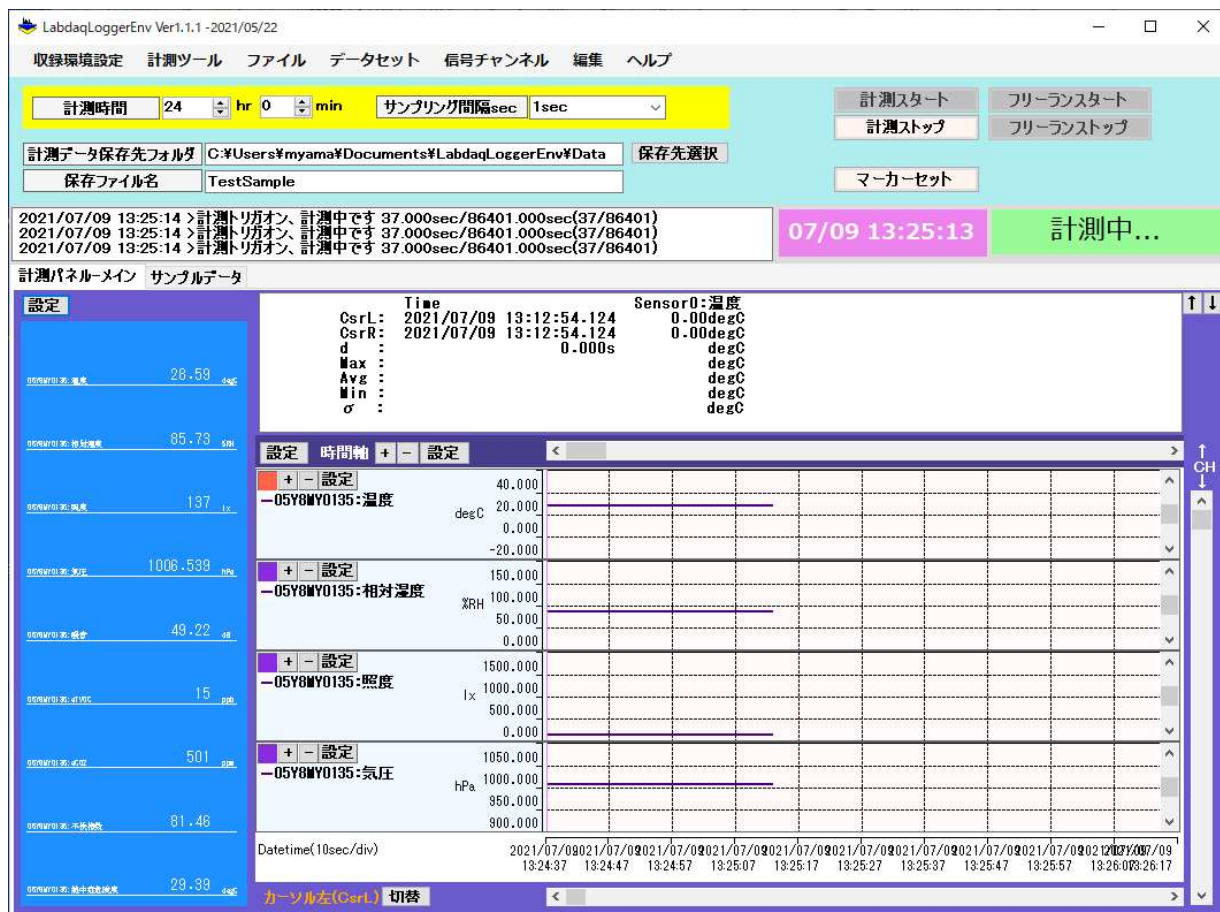
接続されている環境センサーが正しいかどうか、確認します。また使用センサーの設定も可能です。

まず、フリーランを実行してみます。すべて適切に設定されているので。起動状態のままで、
 <フリーランスタート>ボタンをクリックします。左のデジタル数値表示に現在値が表示
 されます。<フリーランストップ>ボタンで停止できます。



サンプルデータのタブを選択すると、各種のサンプル波形データを確認できます。この画面
 で、各種のグラフ操作、ファイル保存、ファイル読み込み、印刷等の処理を体験できます。

次に<計測スタート>を押します。初期設定の計測条件、1秒のインターバルで1時間の計測が開始され、画面にグラフが表示されます（評価版は1秒インターバルでMax1時間）。



数値表示、チャート表示、時間軸、縦軸等、すべて自由に設定できます。各<設定>ボタンを押してください。

また画面上のメニューには計測ツールメニューからスケーリング、ファイルメニューから保存データの読み込み等、各種の機能が用意されています。

デジタル表示は、以下のように、デジタル表示ウィンドウ左上の設定ボタンでフローティングにできます。



指定計測時間が経過後、画面上の設定保存フォルダに設定保存ファイル名+保存時間で CSV ファイルが保存されます。

また、10分毎に自動的に設定保存ファイル名+保存時間でバックアップされます。このファイルは、計測中であっても、ファイルメニューから別タブで読み込み、表示ができます。

4. 環境センサなしでの LabdaqLoggerEnv の使用

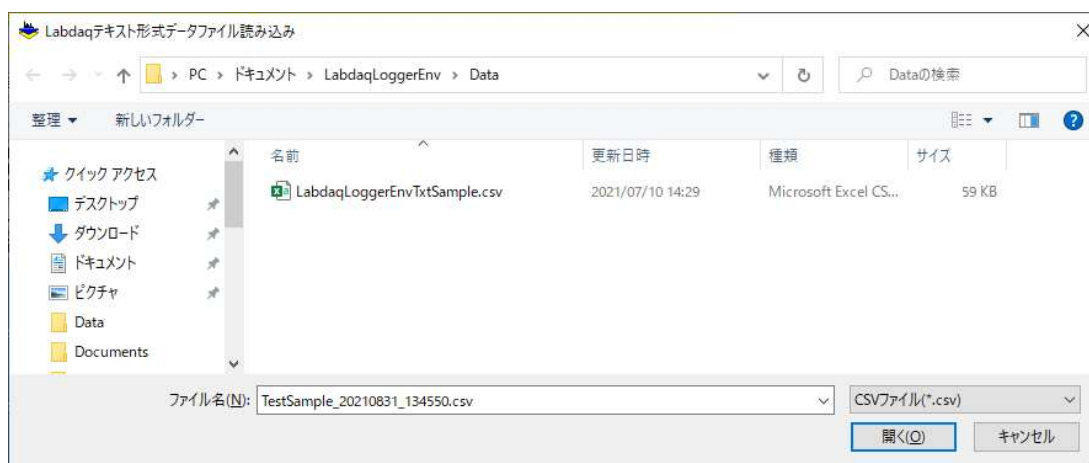
本ソフトウェアは、環境センサー等の計測機器がなくても、単独で使用できます。エクセルと同様に CSV ファイル読み込み。グラフ表示、グラフ解析が可能です。

画面上のメインメニューから以下を選択します。

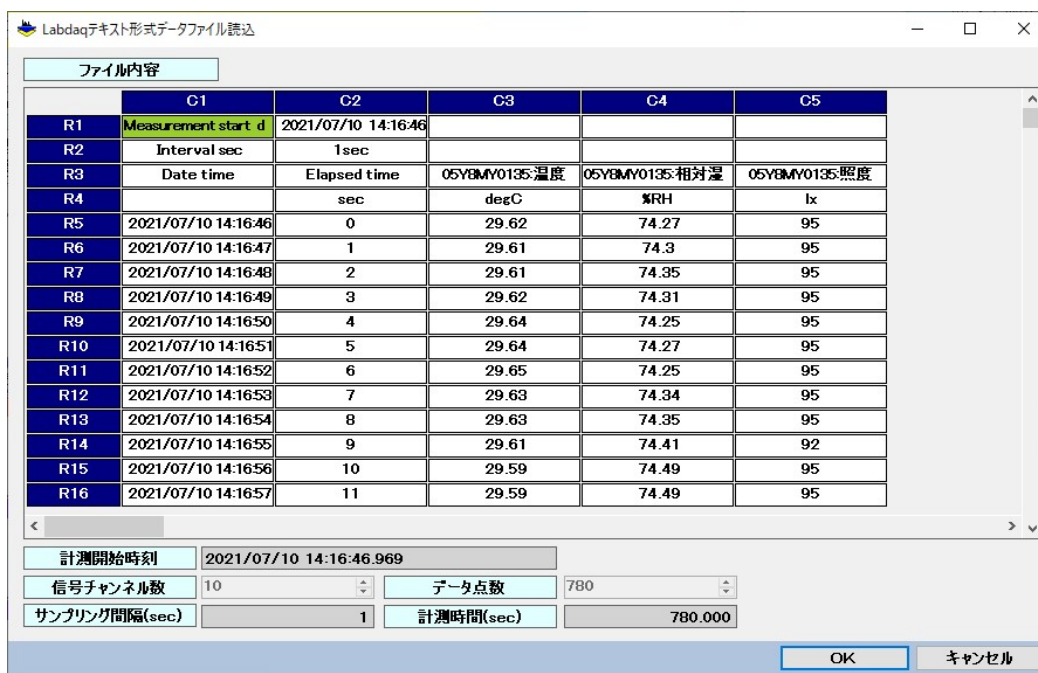
Labdaq テキスト形式データファイル読み込み

任意テキスト形式データファイル読み込み

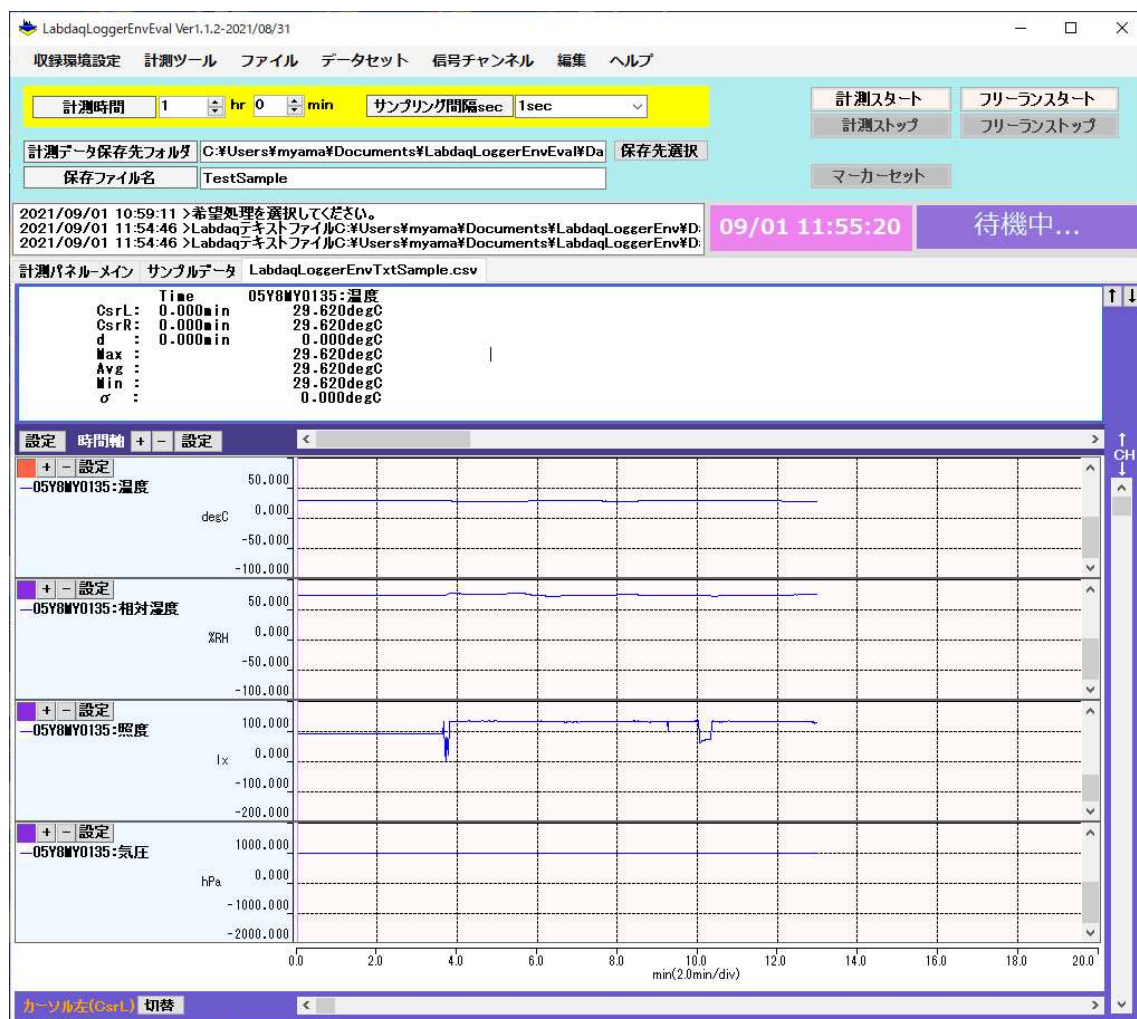
「Labdaq テキスト形式データファイル読み込み」を選択します。



上記のように、サンプルデータ、LabdaqLoggerEnvTxtSample.csv が提供されていますので、このサンプルデータをクリックします。以下、画面にデータの情報が読み込まれます。



この状態で、OK ボタンをクリックします。以下のようにグラフ表示されます。



横軸は、時間になっていますが、時間軸の設定ボタンで日付に変更できます。また、縦、横軸ともに、拡大、縮小、移動が画面のボタンで可能です。

グラフ表示部分クリックでグラフに左右のカーソルが表示され、このカーソルのドラッグ移動でカーソル区間の最大、最小、平均、標準偏差等が直読できます。

その他、グラフ表示の設定は多くあり、自由なグラフ表示が可能です。各設定ボタンクリックで可能なグラフ設定をご確認ください。

「任意テキスト形式データファイル読み込み」メニューではユーザーの任意の CSV ファイルを読み込むことができます。読み込み画面で、読み込みセル等を設定します。

2021/9/1 版

お問い合わせは

〒790-0944 愛媛県松山市古川西 2 丁目 11-24

Tel 089-957-2243 Fax 089-958-2143

E-mail support@labnet.co.jp

Web www.elabnet.jp

The logo for eLaBNET, featuring the text "eLaBNET" in a blue, sans-serif font. The "e" is lowercase and stylized, while "LaBNET" is in all caps. The text is set against a light blue rectangular background.